

わくわく東備

令和5年7月19日
岡山県立東備支援学校
コミュニティ・スクール、
地域学校協働本部だより
- 第1号 -

◆コミュニティ・スクール 2年目がスタート！

東備支援学校では、昨年度「学校運営協議会（コミュニティ・スクール制度）」がスタートし、今年度2年目になりました。学校と保護者や地域の皆様が知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を「地域学校協働本部」（令和3年度発足）とともに相互に連携して一体的に推進していきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

◆第1回運営委員会を開催

5月25日にコミュニティ・スクール第1回運営委員会を本校にて開催しました。会長・副会長の選出・決定、そして今年度の学校運営の方針について校長が説明し、承認されました。

後半は、地域学校協働本部の各班（ジョブ班、街並み班、子ども班、福祉班）で今年度の活動計画を検討しました。どの班も昨年度の活動実績を基に、よりよい協働活動となるよう協議しました。その後の全体会では、ジョブ班から「広げる」と「持続可能」のバランスが大事だという意見が出るなど、有意義な協議となりました。

藤林会長からは、「コミュニティ・スクールでは、多くの子どもたちや保護者に接して、気付いた課題、思い、感じたことや心が動いたことを一つでも『かたち』にできれば、子どもたちの明るい未来に必ずつながってくると信じています。」と温かい言葉をいただきました。委員の皆様には、1年間中心となって活動を推進していただきます。どうぞよろしくお願い致します。



ジョブ班



街並み班



子ども班



福祉班



運営委員及び事務局



岡山県立東備支援学校

〒705-0013 備前市福田637

☎ (0869) 66-8501

✉ tobisien@pref.okayama.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

◆地域の田んぼで米作り

いちけんファームさんが管理されている学校近くの田んぼをお借りして、米作りに取り組んでいます。この米作りプロジェクトは、地域の方々にも参加していただく「地域学校協働活動」の一つで、今年度で3年目となります。

中学部では、米作りについてより詳しく学ぼうということで、米作りの工程を見学・体験したり、稲の生長を観察したりして学習することになっています。

これまでの学習活動についてまとめて紹介します。



5月24日「粃(もみ)まき」

「田んぼに植える苗はどうやってできるんだろう？」という素朴な疑問の答えを見つけない、中学部の生徒がいちけんファームさんの粃まきの現場を訪問しました。

粃まき作業の現場には、自動の播種機（粃まき機）があり、空の苗箱を入れると自動で土が入り、種がまかれて、最後に土に覆われて出てきます。生徒達はしっかり見学し、途中から飛び入り参加で苗箱を運ぶ作業などをさせていただきました。

6月26日「代(しろ)かき」

田植えの前の代かき作業を中学部の生徒が見学しました。

田んぼの畦に並び、大きなトラクターが動き始めると、初めて見る代かきの様子に生徒達は興味津々。ゆっくり進みながら、トラクター後方の回転する部分のごつごつした土の塊を砕き、柔らかい泥状にして、田面を平らに整えていきます。代かきが全て終わると、拍手と歓声がわき起こりました。



6月27日「田植え」

小学部6年生・中学部・高等部の児童生徒が、地域の方々と一緒に田植えをしました。学部ごとにエリアに分かれ、横一列に並んで田植えがスタート。地域の方々にも列の間に入って優しく教えていただきながら、一本ずつ丁寧に植えていきました。

中学部では、教室で粃まきをして育てた苗を持参して、田んぼに植えることができました。また、小学部5年生も、卵の容器に粃まきをして苗を育て、「バケツ稲」の栽培に取り組んでいます。



中学部で育てた苗で田植え



小学部5年生の育てた苗とバケツ稲